

4. 課程認定を受けている課程を有する学科等の各段階における到達目標

＜生物産業学部海洋水産学科＞（認定課程 中一種免（理科）・高一種免（理科））

（１）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1 年次	前期	増養殖学、水圏に関する科学史、関連する基礎的実験や実習を中心に水圏科学や環境学を学ぶための基礎を培うとともに、語学や人文・社会科学も学んで広い教養を養う。教職に就くために何が必要かを正しく理解する。
	後期	海洋水産学や野外調査に関する基礎を学ぶとともに、実験・実習を通して基礎力の向上を図る。教職についての理解を深め、教員としての適性を確認する。
2 年次	前期	動植物学、水圏環境学、より応用的な実験・実習などを通して多様な水圏科学の理解を深め、引き続き広い教養を養う。教職の基礎を理解し、将来の進路について考える。
	後期	生態学、微生物学、環境情報学や、これらに関する実験実習を通して、多様なアクアバイオ研究に関する諸分野の理解を深める。理科教員として必要な基本的な科学的知識を再確認する。
3 年次	前期	各分野・研究室での調査・実験を体験し、さらに高度な専門科目の理解に取り組む。理科教員として必要な指導法、中学校教員として必要な指導法を身に付ける。
	後期	引き続き、各分野・研究室での活動を通して卒業研究で取り組むテーマを考える。職業選択に関する理解も深める。引き続き理科教員として必要な指導法を習得するとともに、教育実習に臨むための態度を確立する。
4 年次	前期	卒業研究とこれに関わる科目履修に取り組み、実験・調査を進めるとともに関連する既往研究についての理解を深める。教育実習をすることで、大学で学んだ知識・技術を確認するとともに、教師の仕事について理解を深め、教員としての資質を確認する。
	後期	卒業研究のまとめとプレゼンテーションの実践を通して、海洋水産学の諸問題に対する解決力がどれだけ身に付いたのか確認し、それを社会でどう生かすのか考える。中学校理科教師として必要な資質能力がどれだけ形成されたか振り返る。